

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第15回 宗吾霊堂のあじさい園

～梅雨を彩る花の絶好の鑑賞スポット～

親しみやすく育てやすいことから、市の花にも指定されているアジサイ。この花の名所として知られているのが宗吾霊堂大本堂の裏手にあるあじさい園です。今回は、鑑賞しやすい環境を整えるためにどのような準備が行われているのかを紹介します。

日に日に気温と湿度が高くなり、梅雨が近づいていることを感じる5月下旬。宗吾霊堂の檀家の皆さんによる除草作業が行われた後、「紫陽花植樹による観光地づくり」実行委員会が中心となって手入れ作業を行います。宗吾地区の住民や成田市観光協会などが構成しているこの実行委員会。作業には、実行委員会以外にもライオンズクラブの会員や航空会社の社員など、地域に貢献したいという人も参加しています。通路の樹木を伐採したり、アジサイの周りに生えた雑草を処理したり。広い園内の手入れは骨の折れる作業ですが、たくさんの人に訪れてもらい、花の美しさを存分に楽しんでもらうために汗を流しています。

6月25日(日)までは「宗吾霊堂紫陽花まつり」を開催。日曜日には、箏・尺八、二胡の演奏会やお茶会も行い、園内を風情豊かに飾ります。出演者や先生のスケジュール調整をはじめ、ステージに華やかさを添える花壇の手配など、さまざまな準備を実行委員会が行います。

梅雨を彩るアジサイ。この花を存分に楽しめる市内随一の鑑賞スポットの舞台裏には、地区の住民をはじめとする、地域に貢献したいという多くの人たちによる努力の積み重ねがありました。



①



②



③

- ① 拾い集めた枯れ枝でトラックがいっぱいに
- ② 通路の雑草を丁寧に刈る
- ③ 柏葉アジサイの並びは圧巻の光景

地区全体の豊かさを楽しんで

成田市観光協会 湯浅 梨恵さん

ほかでは見られない数の柏葉アジサイが宗吾霊堂のあじさい園の一番の見どころです。また、近くには江戸時代の義民・佐倉宗吾の旧宅や樹齢1,300年以上といわれる大杉がそびえ立つ麻賀多神社、印旛沼に隣接する甚兵衛公園などもあります。あじさい園を鑑賞した後は、周辺にも足を延ばして宗吾地区の豊かさを感じてもらいたいです。



舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

編集後記

毎年やってくる梅雨。雨が降り続くこの時期は、足元ばかりを見てしまいがちですよね。それでも顔を上げれば、あちらこちらできれいに咲いたアジサイを見ることができるのは成田の良いところです。ところで、なぜ梅雨の時期である6月が「水無月」と呼ばれているか知っていますか。調べてみると、由来は「水の月(田んぼに水を引く月)」で、「な」は古語で「の」を意味することから「無」を当て字で使用したという説があるようです。日本語って奥が深いですね。

令和5年6月15日号 No.1485

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは簡デンソーウェブの登録商標です



*本紙は6月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。